

いちばんぼし No. 73



全国膠原病友の会北海道支部

第17回総会と医療相談会のご案内

今年は積雪の量が多かったわりには、2月の雨などもあって、か早い春を迎えて、友の会の皆さんはいかがお過ごしですか。

今年も支部総会のご案内をする時期がやってきました。といっても毎年よりは1ヵ月早いご案内です。前号で旭川での支部総会開催が見送られたお話はしましたが、今年はやはり計画をたてながら実現されなかった、初めての本格的な医療相談会を行うことに決定しました。4名の内科の先生と1名の整形外科の先生をお招きして、グループごとに分れて質疑応答を行います。普段の診察では時間が短くてなかなか聞けないと思っていることはありませんか。そんな悩みは是非この相談会で解決して下さい。

そして、前日の支部総会の後の交流会は、ちょっぴりリッチな気分でフランス料理を味わって下さい。ただし男性はタキシード、女性はイブニングドレスを用意する必要はありませんので悪しからず。

一年に一度全道の会員が集まる総会です。会議もちろん大事ですが、それ以上に会員同志の交流は、本当に来て良かったと思ってもらえるように、大切にしたいと考えています。そして今年は、特に相談会を含めすべて会員のみの集いとなっています。お友達とお喋りするような気軽な気持ちで参加してみてください。きっと会員の輪も広がることでしょう。

より多くの皆さんの参加を心よりお待ちしております。



スケジュール



■と き 平成2年5月19日(土)～20日(日)

■ところ 〈総会・相談会会場〉

北海道難病センター

札幌市中央区南4条西10丁目 ☎011(512)3233

〈交流会会場〉

コーヒーハウス・レストラン「ティファニー」

札幌市中央区北5条西5丁目 センチュリーロイヤルホテル2F

☎011(221)2121



5月19日(土)

14:00 受付開始 (難病センター、3F大会議室前)

15:00 オ17回支部総会

17:00

18:00 交流会 (コーヒーハウス・レストラン「ティファニー」)

*交流会には、今井、河野、佐川、中井、各先生が参加予定です。

20:00



5月20日(日)

9:30 一般受付開始

10:00 医療相談会

*5つのグループに分れて相談会を行います。

12:30 終了、解散

☆相談会には、5人の先生にご協力いただきます。

・今井 浩三 先生 (札幌医科大学内科)

※現在、札幌医科大学で膠原病の専門外来を担当。
今回初めて、友の会にご参加いただくことができました。

・河野 通史 先生 (市立札幌病院内科)

・佐川 昭 先生 (北大病院第2内科)

・中井 秀紀 先生 (勤医協中央病院内科)

・増田 武志 先生 (松田整形外科病院)

相談を希望する先生のお名前に○印を付けて(同封ハガキ)
投函して下さい。ただし、人数によっては当日希望が変更
する場合がありますので、ご了承下さい。



☆交流会の参加費は、一人 3,500円です。

(交流会のみの参加も歓迎いたします)

☆札幌までの交通費の半額は、友の会で負担します。

(札幌在住の方は、一律500円を友の会で負担します)

☆当日会場にて、会費(年4,200円)を受付けます。

☆宿泊費(難病センターのみ)は、友の会で負担します。

朝食代500円は自己負担です。

☆ご参加の方は 印カンをご持参下さい。



同封のハガキにて、出欠のご返事を
5月8日(火)必着でお願いします!

財団法人 北海道難病連とは、 こんな団体です。

1972年、全国筋無力症友の会北海道支部などのよびかけによって準備がすすめられ、1973年2月、10団体(1,100家族)によって北海道難病団体連絡協議会として発足しました。

事業としては次のようなものを行ってきました。

難病患者・家族の実態調査 ● 難病白書の刊行
● 難病集団無料検診・出張相談会の実施 ● 難病相談室の常設 ● 在宅患者と医療の会(研究会)の主催と研究報告書の刊行 ● 啓蒙宣伝活動・ポスターの配布 ● 合同レクリエーション ● 患者・家族団体の育成・援助 ● ボランティアの派遣 ● 地域組織の育成 ● 北海道・市町村・および議会への陳情・請願活動 ● 機関紙「なんれん」の発行
● 医療講演会の実施 ● 役員研修会 ● 全国の患者団体との交流 ● 各種行政機関との連携
● 難病センターの建設運動、専門病院、研究所の建設運動 ● 福祉機器の普及・開発事業 ● 資金活動

そして、北海道難病センターの実現と創立10周年を機会に、その活動を一層おしすすめ、責任と義務を明らかにするために、公益法人として再発足することとなり、北海道知事から財団法人の許可をいただきました。

「励ましあい、援けあう難病連」「私たちの住んでいる地域の医療、地域の福祉、地域の活動を」を合い言葉に難病患者と家族によって運営されています。

難病センターでは、 こんな事業を しています。

●相談

医療・福祉制度・年金・法律など。電話・手紙・ご来所は予約です。
(月～金、午前10時～午後5時/土曜日、午前10時～午後2時)

●難病集団無料検診・出張相談会

道、市町村との共催で全道各地で。(年間5～10ヵ所)

●医療講演会

札幌市内他全道各地で。

●ボランティアの派遣

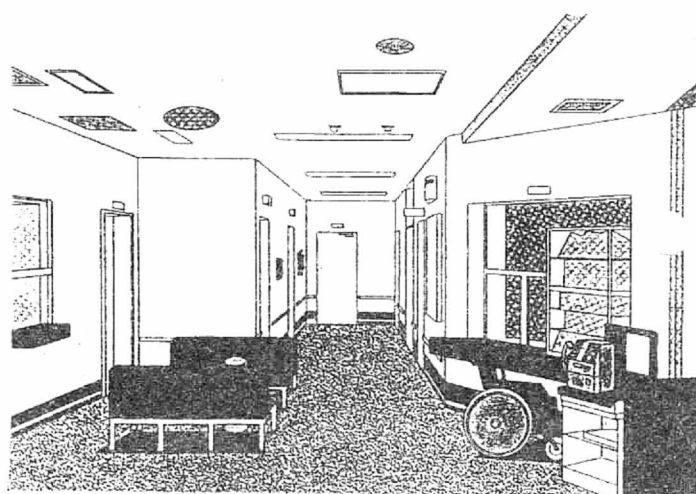
●福祉機器の相談・展示・あっせん

●難病・医療・福祉に関する資料の収集と閲覧

●患者さんのための貸し出し図書

●機関紙・ポスター・パンフレットの発行

●各種研究の推進



あ と が き



例年より約1カ月早い総会の開催で、運営委員一同は少々戸惑いながらも、参加して下さる会員の皆さんに「本当に来て良かった。また参加してみよう」と思っていたできるように準備をすすめています。どうかその日まで体調を整えて、元気な顔でお会いできますように。

(こ)



北海道難病連の

アンケート(実態調査)にご協力下さい!

まだ間に合います。

アンケートをまだ手元にお持ちの方は
大至急ご解答の上、返送して下さい。

編集人 全国膠原病友の会北海道支部

編集責任者 小寺 千明

〒064 札幌市中央区南4条西10丁目

北海道難病センター内 ☎(011) 512-3233

発行人 北海道身体障害者団体定期刊行物協会

北区北13条西1丁目 神原 義郎

昭和48年1月13日第3種郵便物認可 HSK通巻216号 100円
いちばんぼしNo.73 平成2年4月10日発行(毎月1回10日発行)
